

(5) 2020.10 ふじと

歳入について、町税のうち農業所得の減少等により納税義務者が30人減少し個人町民税が2.6%の減となり、法人町民税と合わせた町民税全体では1.0%の減となりました。固定資産税は、土地、建物、償却資産からなる純固定資産税が0.7%の増、国有林野交付金が7.0%の増、県有資産交付金が2.4%の減となったことにより、固定資産税全体では1.3%の増となりました。軽自動車税は、新税率の自家用四輪自動車登録台数の増により2.3%の増、たばこ税は

令和元年度一般会計の決算規模は、歳入総額が36億385万3千円で、前年度と比較すると2,000万5千円(0.6%)の増、歳出総額は34億6,955万2千円で、前年度と比較すると5,632万9千円(1.7%)の増となりました。また、歳入歳出差引額は1億3,430万1千円の黒字ですが、このうち翌年度へ繰越すべき財源が4万5千円あり、実質収支額は1億1,994万円と、前年度より896万2千円(6.3%)の減となりました。



販売本数の減少により6.1%の減、入湯税は入浴客数の増加により2.6%の増となり、町税全体としては0.3%の増となっています。地方交付税については、普通地方交付税が0.9%の増、特別交付税は0.6%の増で、全体では0.9%の増となりました。国・県支出金のうち、国庫支出金では東北観光復興対策交付金、農業基盤整備促進事業費補助金(繰明分)の皆減や、児童手当負担金、地方創生推進交付金の減はありましたが、プレミアム付商品券事業費補助金、同事務費補助金、農山漁村地域整備交付金、衆議院議員総選挙費委託金等の皆増や、自立支援給付費負担金、低所得者介護保険料軽減負担金、社会資本整備総合交付金の増等により、全体では13.2%の増となりました。県支出金においては、農地利用最適化交付金等の減があったものの、森林環境保全整備事業費補助金、地籍調査費補助金等の増により、全体で2.1%の増となりました。

町債においては、防災対策事業債、市町村振興資金の皆増がありました。臨時財政対策債、過疎対策事業債の減により、総体で18.8%の減となりました。歳出について、経常収支比率は94.0%となっています。その他は下記をご覧ください。

令和元年度主要施策

◇歳出の性質別構成比率◇

(単位：千円)

【義務的経費】	1,139,738 (32.9%)
◎人件費	578,437 (16.7%)
(うち職員給)	357,464 (10.3%)
◎扶助費	249,942 (7.2%)
◎公債費	311,359 (9.0%)
【投資的経費】	404,129 (11.7%)
◎普通建設事業費	402,345 (11.6%)
【その他経費】	1,924,271 (55.4%)
◎物件費	586,954 (16.9%)
◎維持補修費	61,786 (1.8%)
◎補助費等	536,023 (15.5%)
◎投資出資貸付金	106,726 (3.1%)
◎積立金	226,160 (6.5%)
◎繰出金	406,622 (11.7%)
歳出合計	3,468,138 (100%)

※ () 内は構成比

令和元年度主要施策

(単位：千円)

『補助事業』	
藤里版ローカルベンチャー推進協議会事務局業務委託	12,913
長場内橋撤去工事	34,538
橋梁補修工事	68,078
トンネル点検事業	8,195
林道橋梁・トンネル点検事業	17,621
造林事業	45,953
『単独事業』	
義務教育学校整備事業(地質調査・設計等)	61,317
定住化促進住宅整備事業(土地購入・造成)	35,704
バス路線維持費補助金	14,571
子育て応援金	8,800
福祉医療費	33,954
福祉バス購入事業	9,965
藤里町集会所建設等助成交付金	9,444
トラクター購入事業	6,566
複合経営推進助成事業	14,198
奨学金貸付金事業	18,660
お買い得商品券助成金	11,183
分作・横倉線路肩復旧工事	8,631